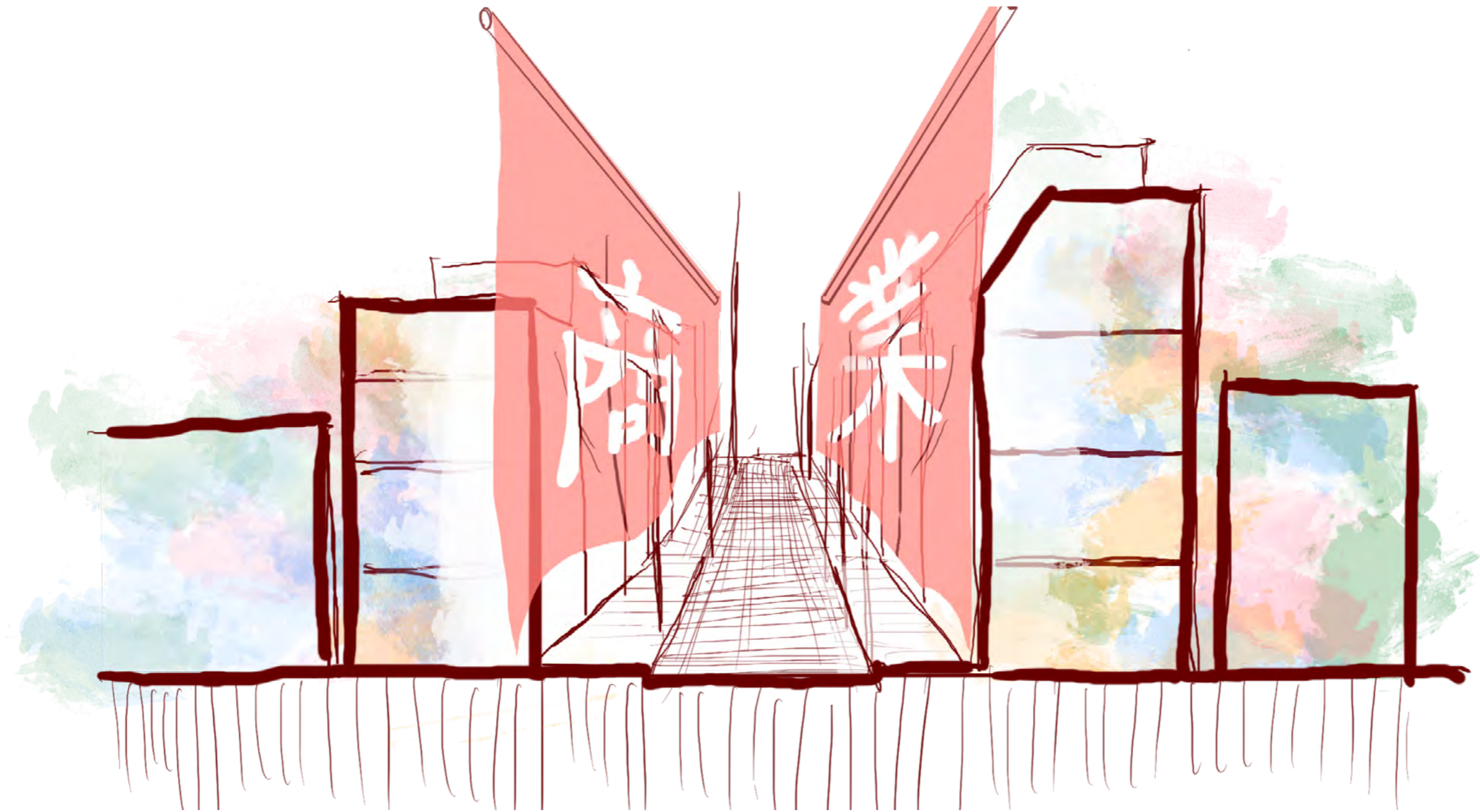


のれんみつけ



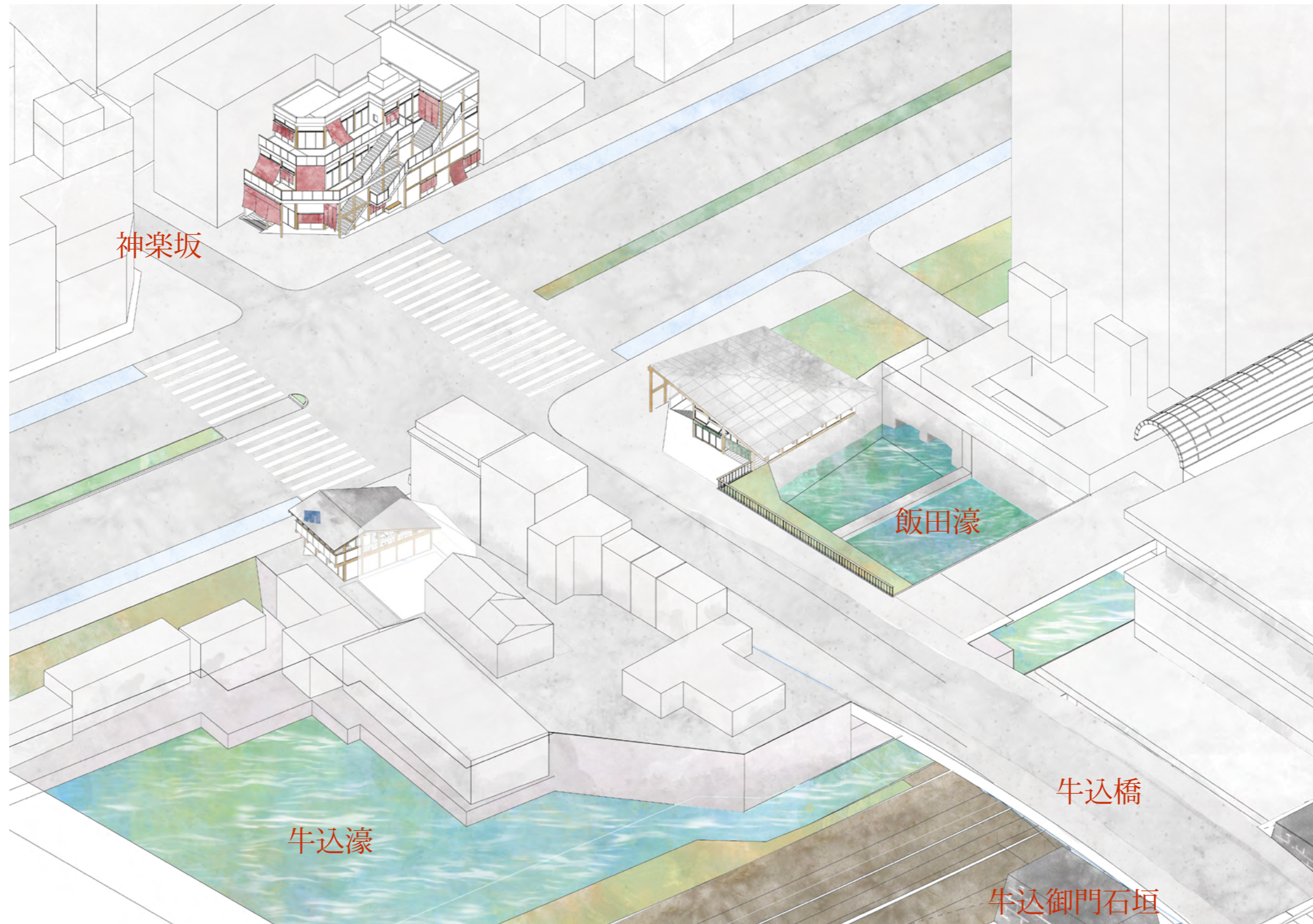
00. 神楽坂の現在



商業というのれんをつけた神楽坂。

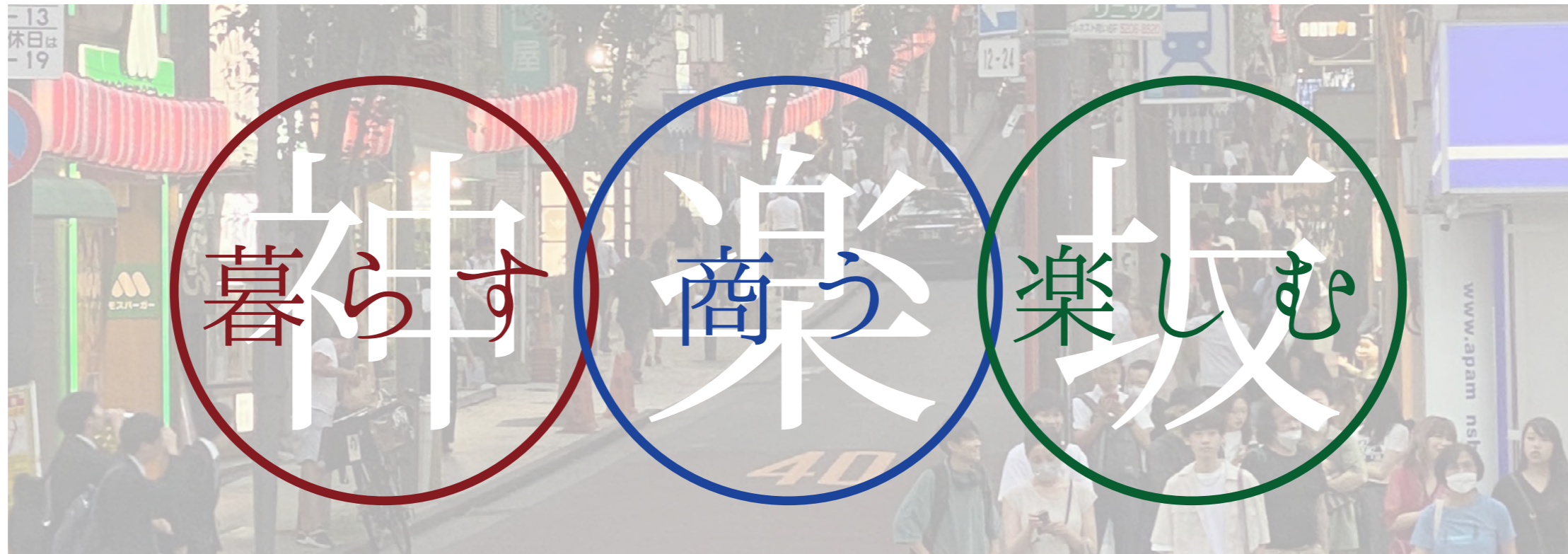
本来の姿はのれんの裏に隠れてしまった。

00. 神楽坂の現在



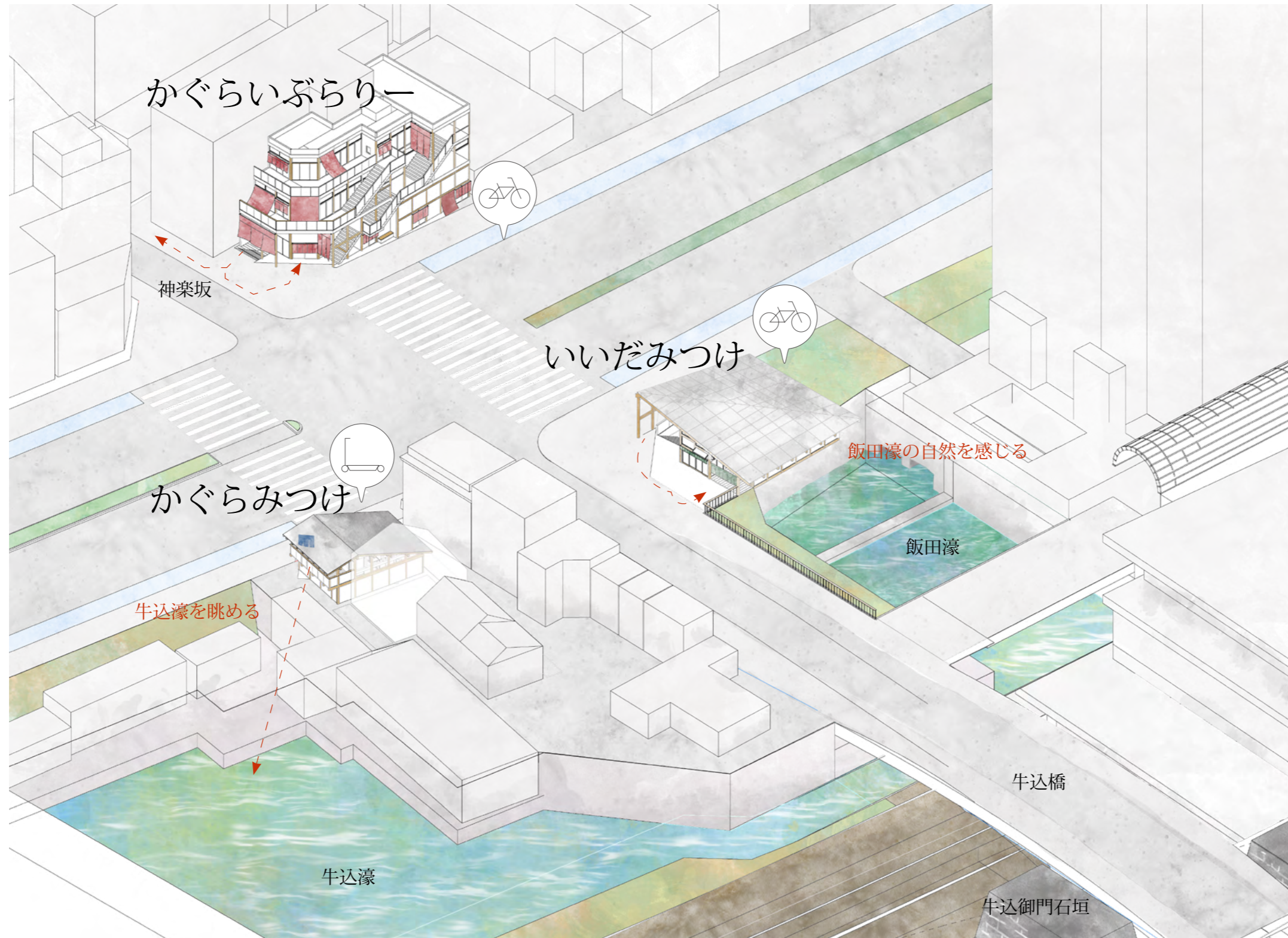
のれんの裏側には花街や荷揚場の歴史、
ボート乗り場が今も存在し続けている。

01. コンセプト



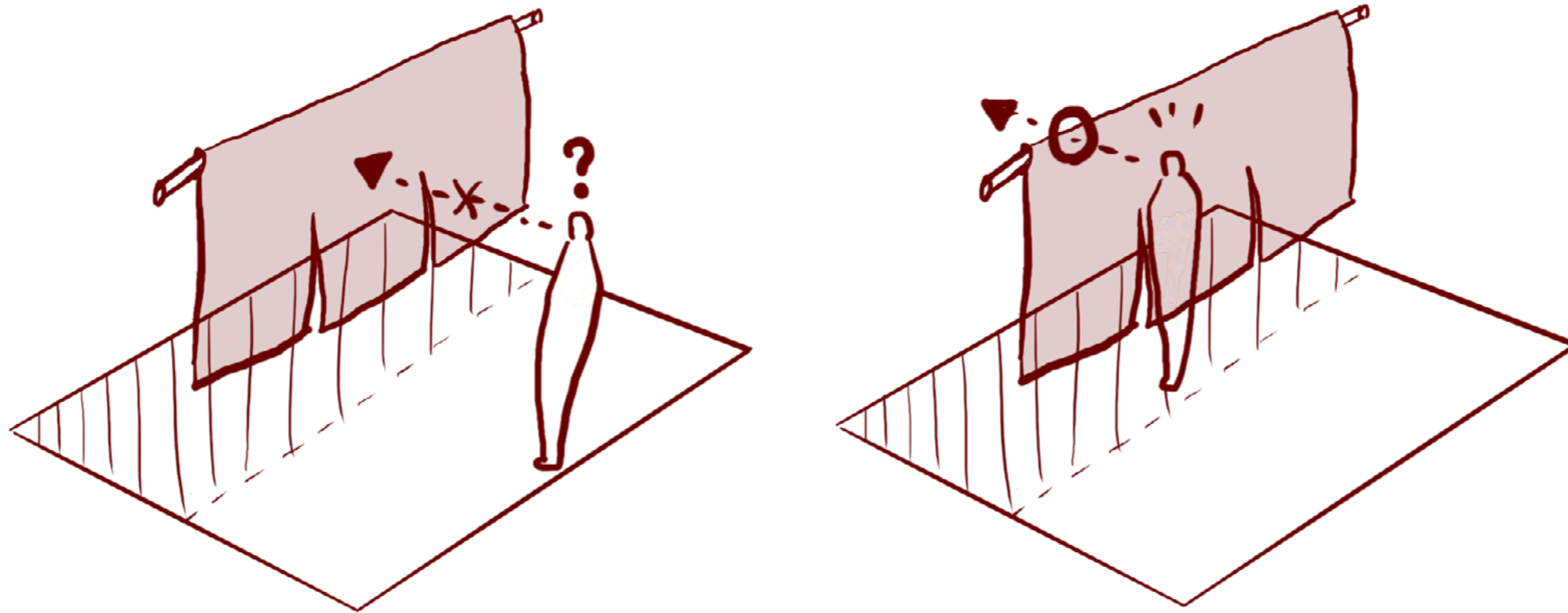
人々が暮らし、商い、楽しむ街神楽坂のイメージに
乖離が生じている。

01. コンセプト



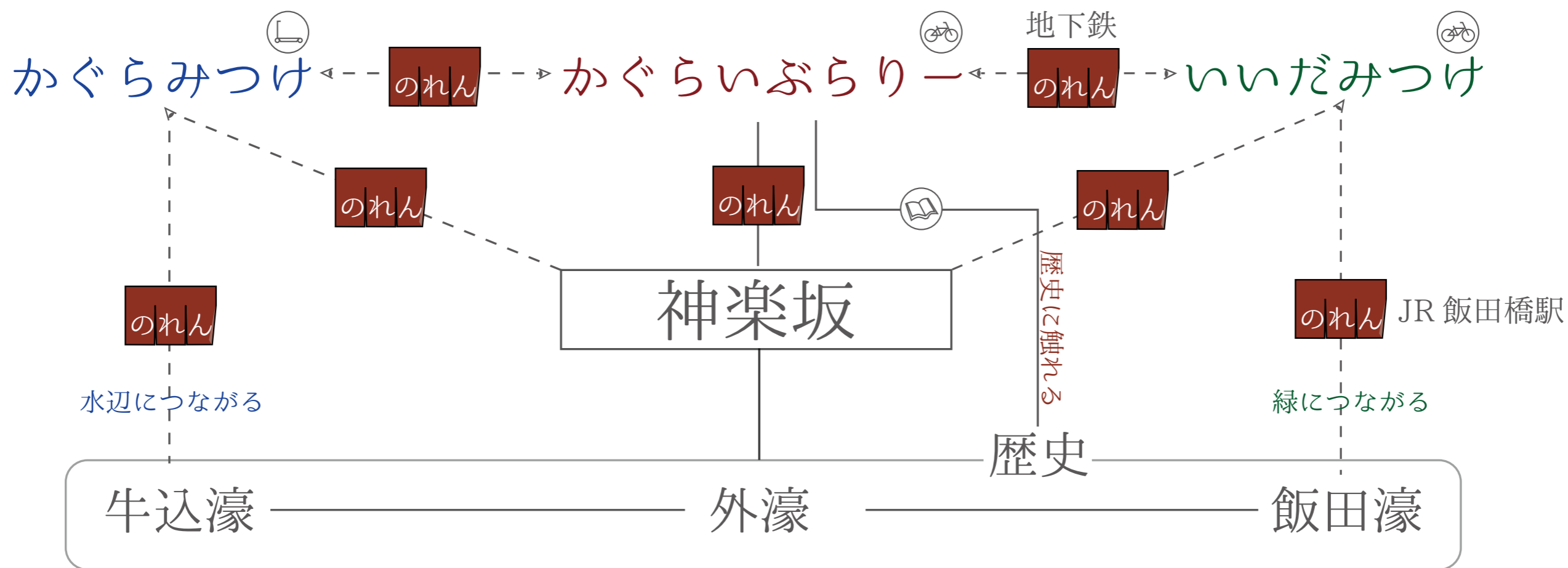
そこで住人視点と観光客視点のギャップを
緩やかに埋める建築を3つ設計する。

02. のれんの手法



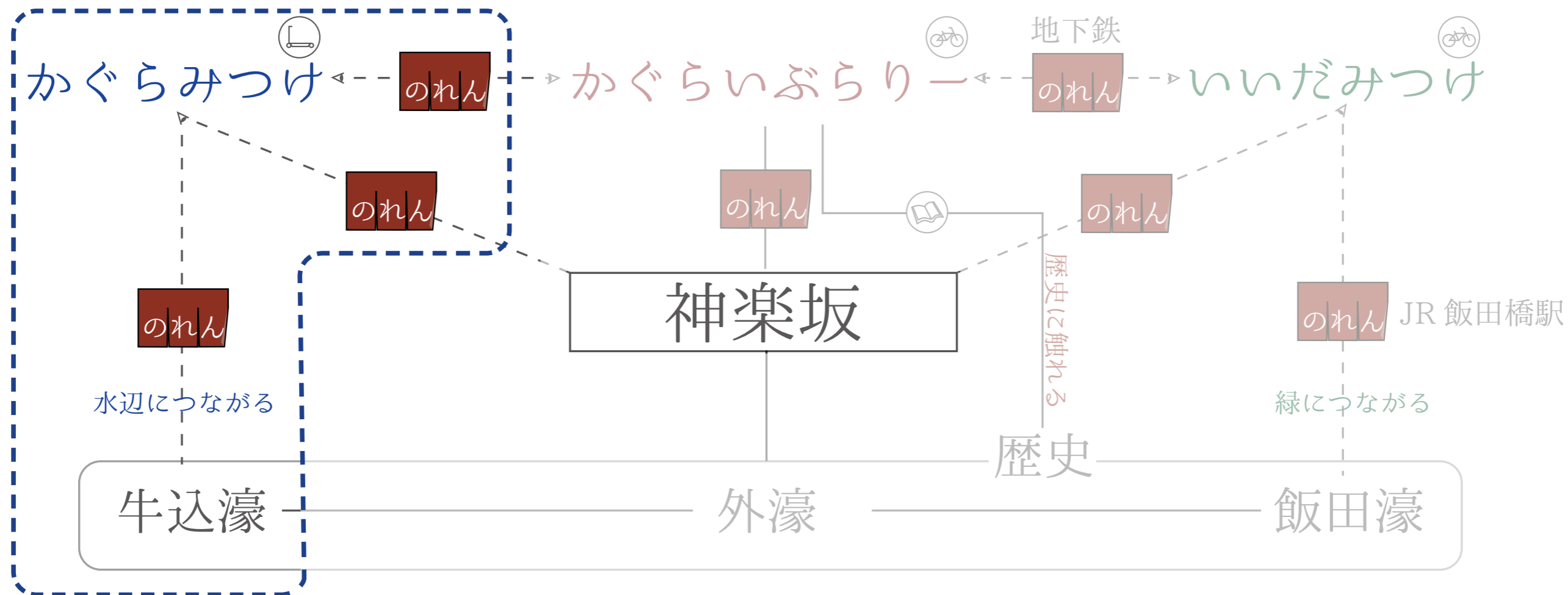
領域をつくる / 視線を遮る / 奥への興味 / 視界の限定

03. のれんが紡ぐ連関図



のれんの先で神楽坂を見つける。

03. のれんが紡ぐ連関図

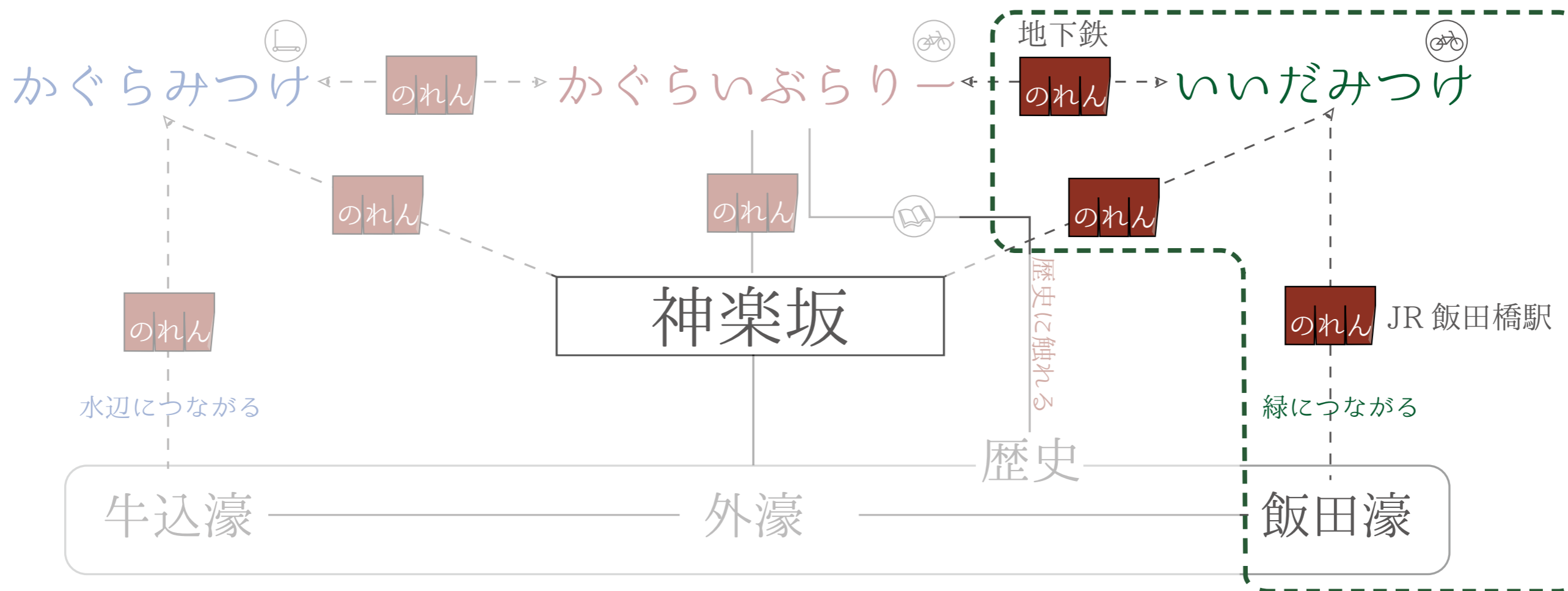


一、かぐらみつけ

- ・ 公衆トイレ
- ・ うしごめテラス

牛込濠と神楽坂をつなぐ

03. のれんが紡ぐ連関図



一、かぐらみつけ

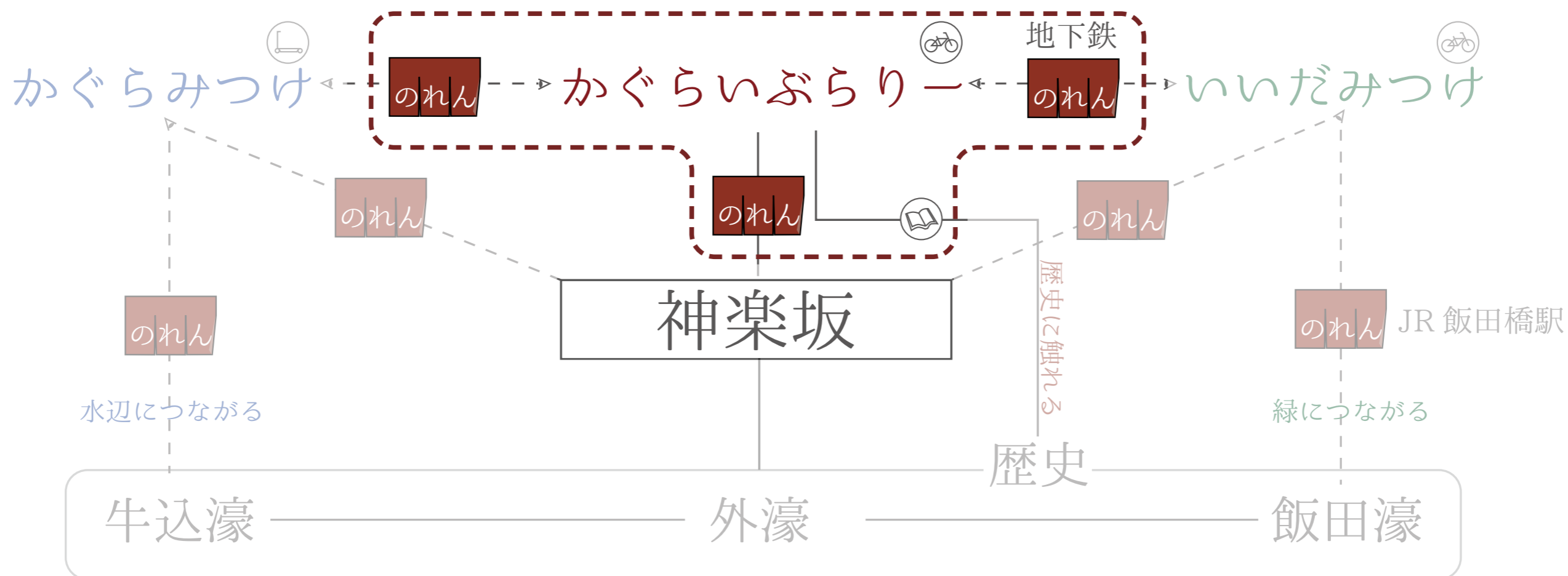
- ・ 公衆トイレ
- ・ うしごめテラス

二、いいだみつけ

- ・ いいだテラス
- ・ 休憩所、レンタルサイクル

飯田濠と神楽坂をつなぐ

03. のれんが紡ぐ連関図



一、かぐらみつけ

- ・ 公衆トイレ
- ・ うしごめテラス

二、いいだみつけ

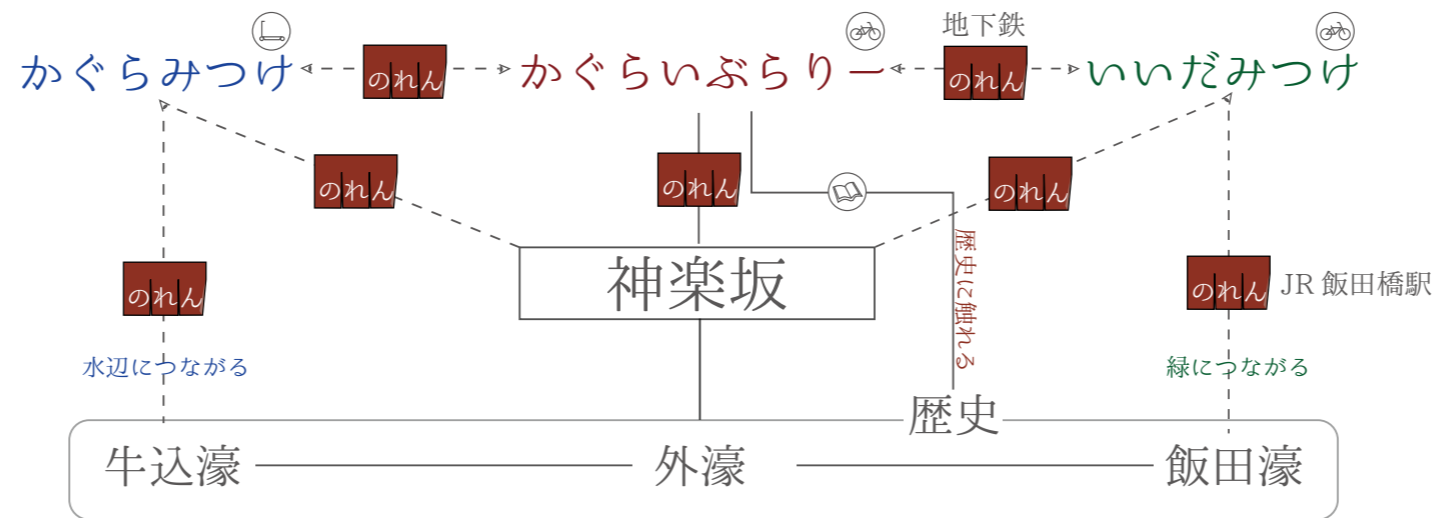
- ・ いいだテラス
- ・ 休憩所、レンタルサイクル

三、かぐらいぶらりー

- ・ 神楽坂資料館
- ・ シェアブックシェルフ
- ・ お土産屋、カフェ

神楽坂を知りギャップを解きほぐす

03. のれんが紡ぐ連関図



三、かぐらいぶらりー

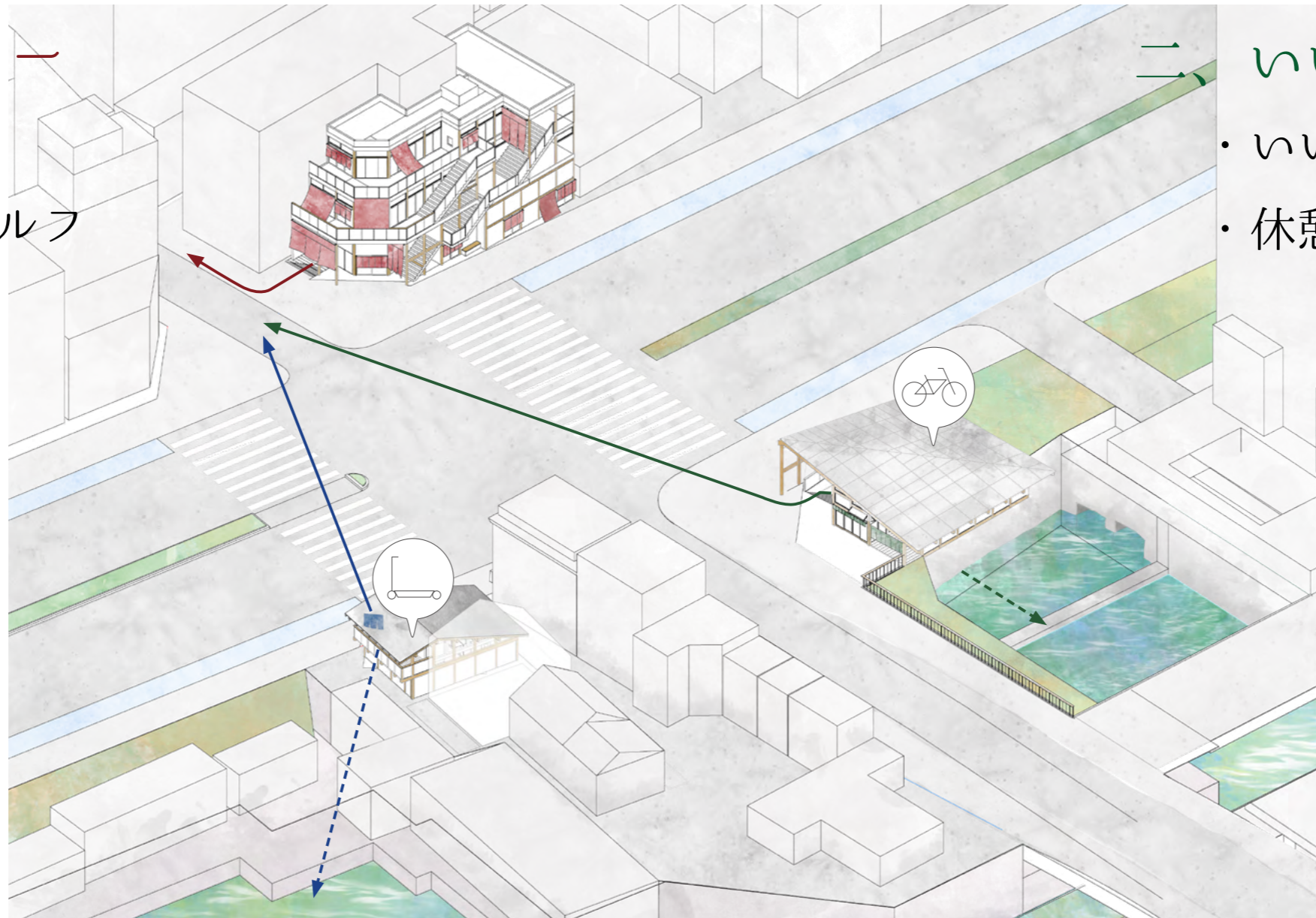
- ・ 神楽坂資料館
- ・ シェアブックシェルフ
- ・ お土産屋、カフェ

二、いいだみつけ

- ・ いいだテラス
- ・ 休憩所、レンタルサイクル

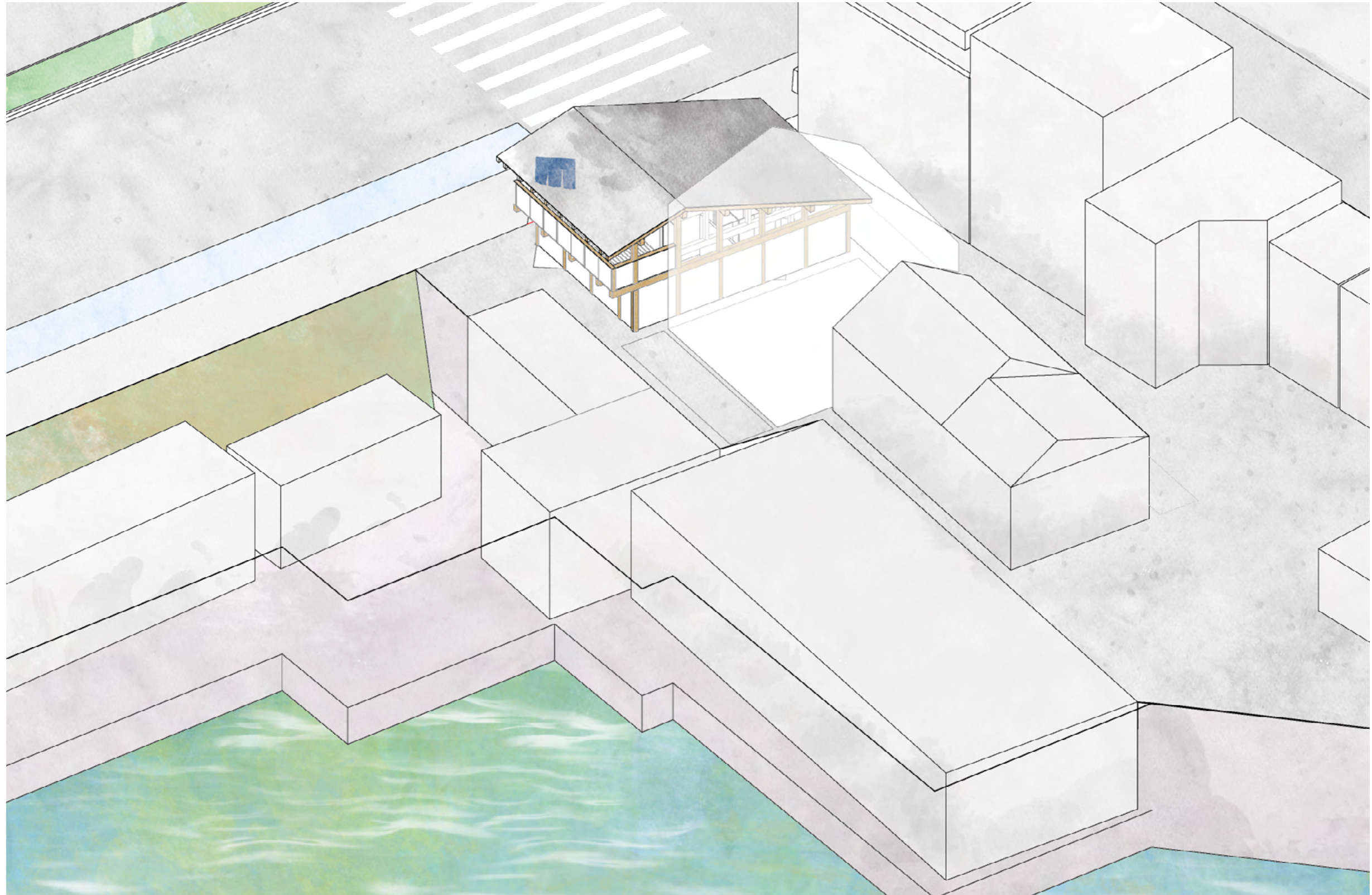
一、かぐらみつけ

- ・ 公衆トイレ
- ・ うしごめテラス

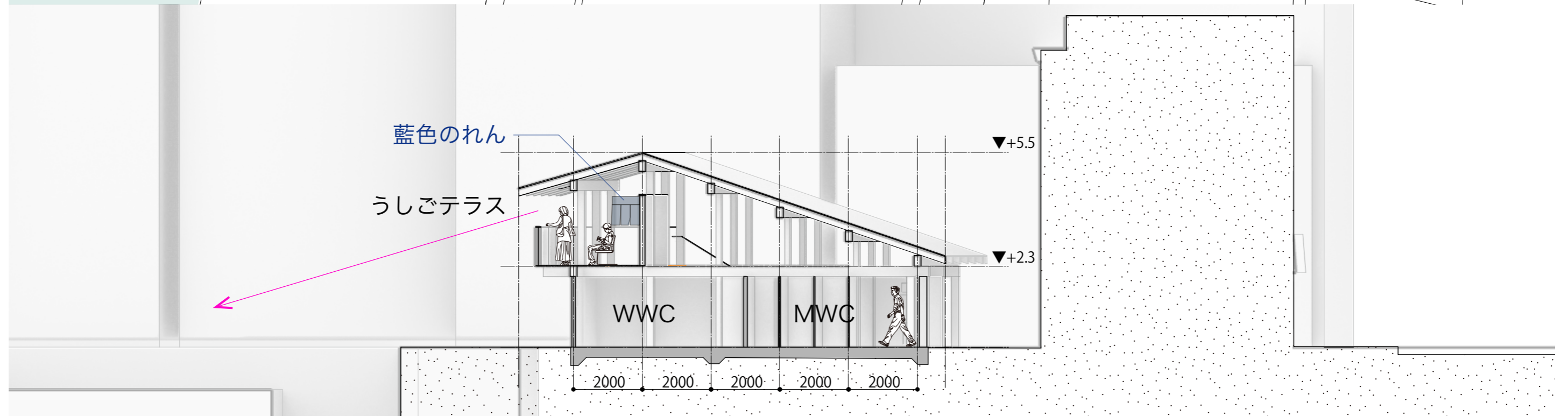
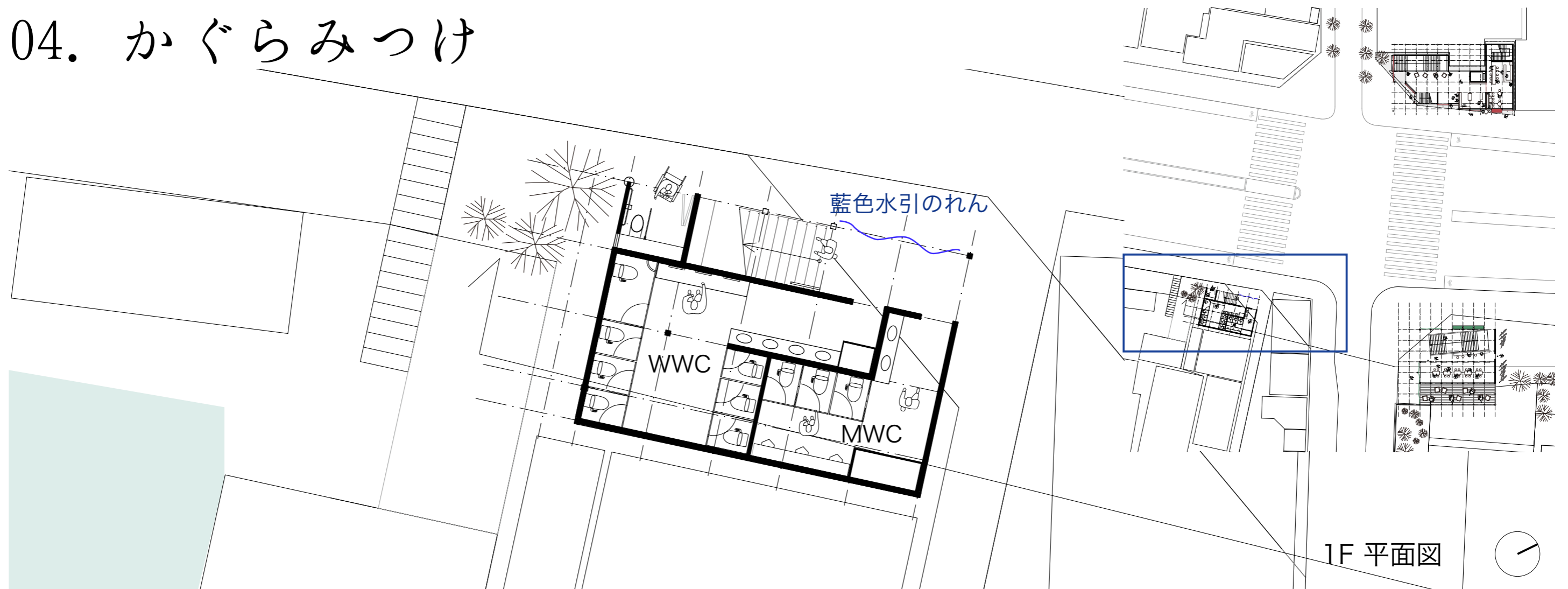


神楽坂へと人々を導く

04. かぐらみつけ



04. かぐらみつけ



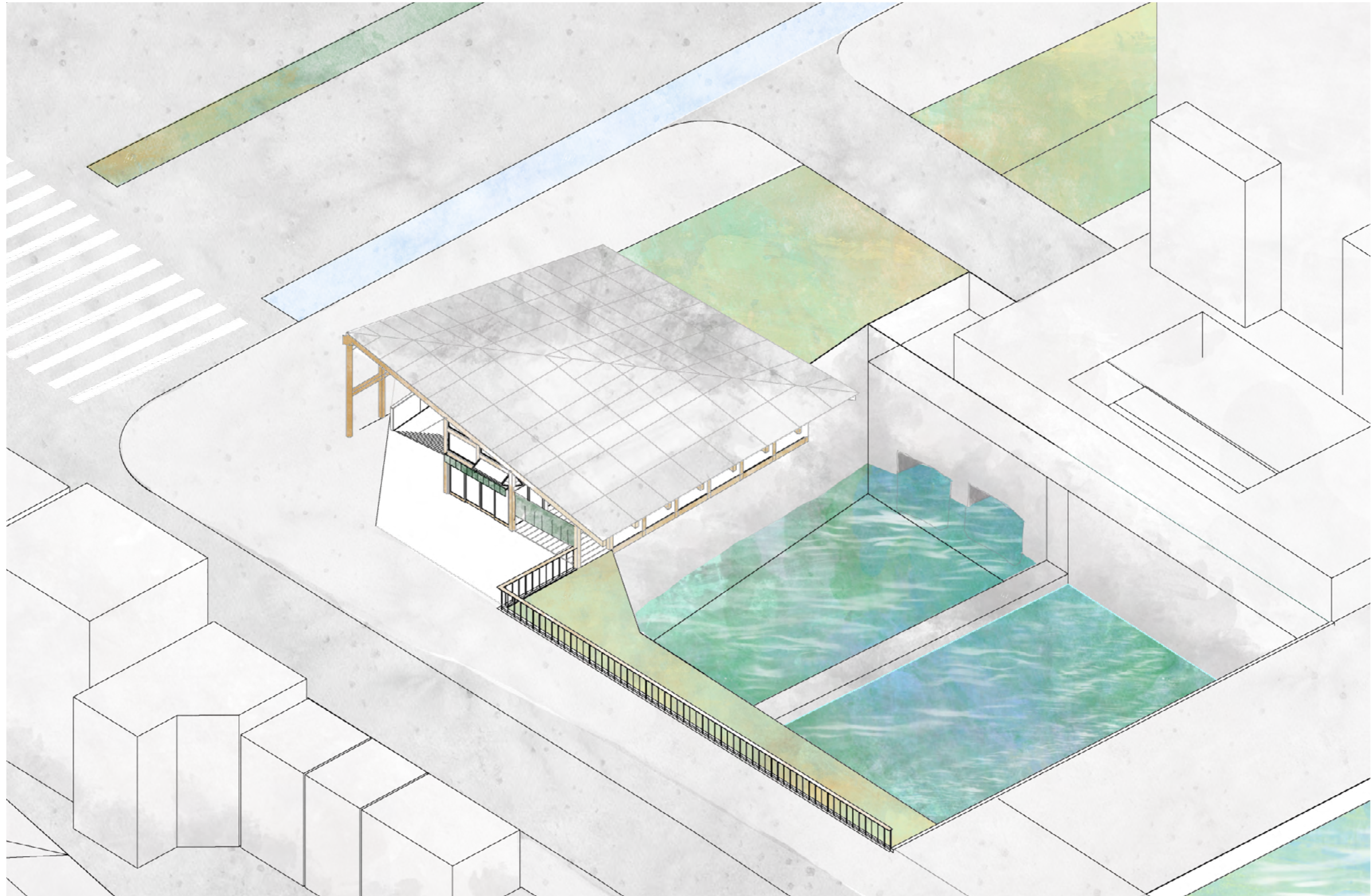
トイレの利用者に神楽坂を気づかせる場所

04. かぐらみつけ

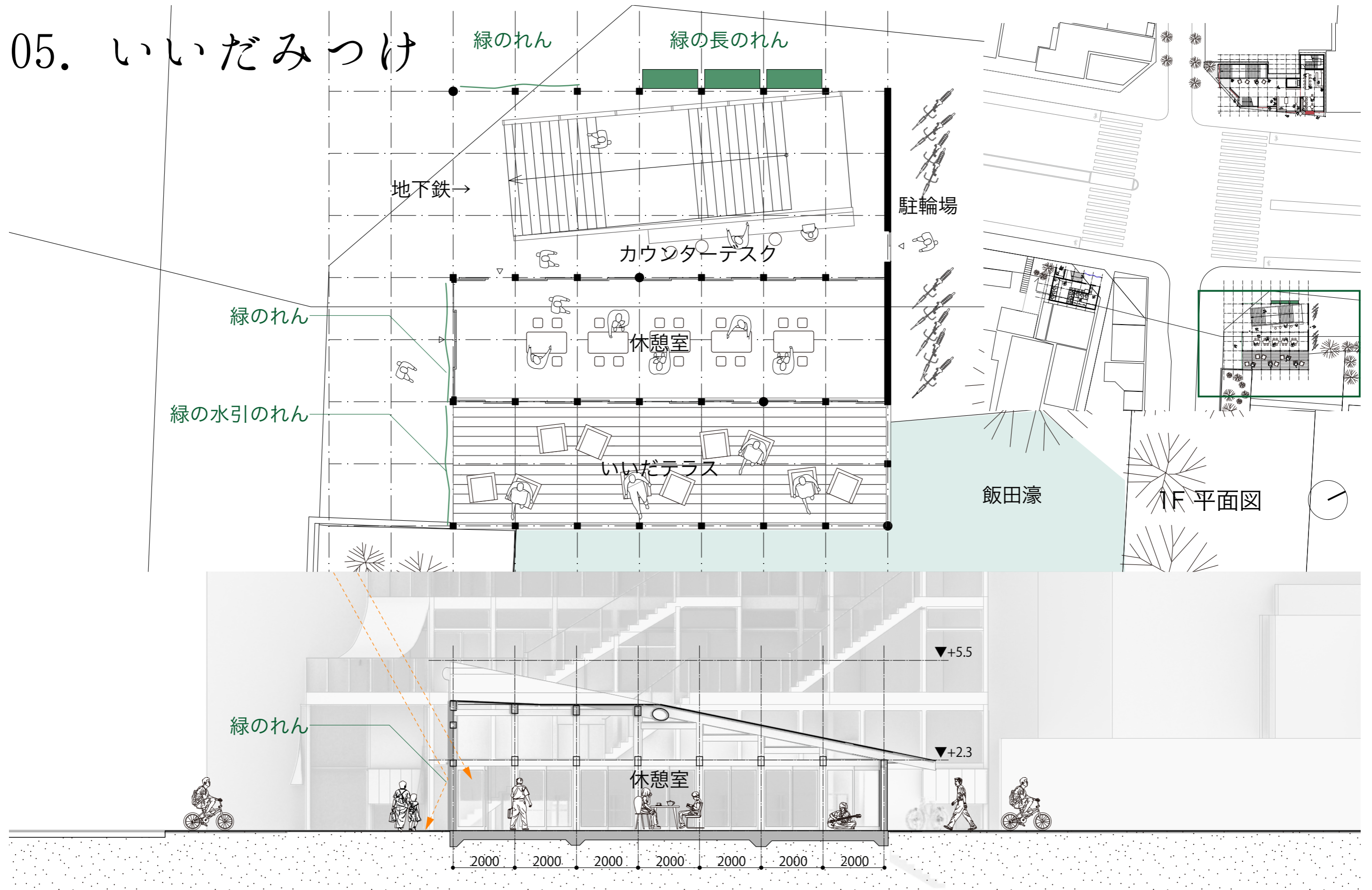


牛込濠テラスから牛込濠を眺め帰り際に神楽坂に気付かせる

05. いいだみつけ



05. いいだみつけ



待ち合わせの時間に飯田濠の木々と水面を眺める。

05. いいだみつけ

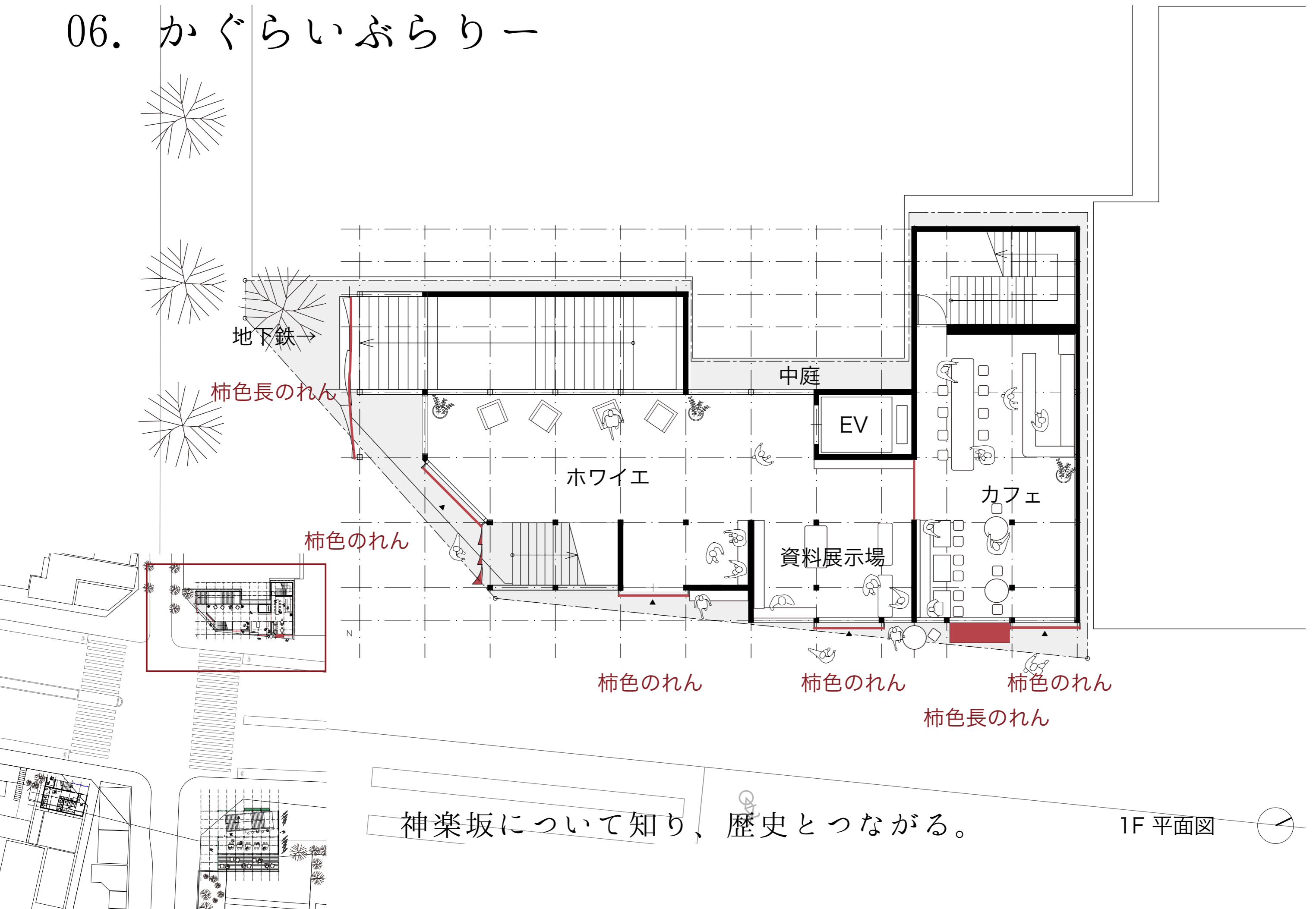


JR 飯田橋駅から歩く人々を神楽坂へ誘う屋根勾配

06. かぐらいおらりー

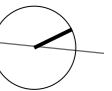


06. かぐらいおらりー

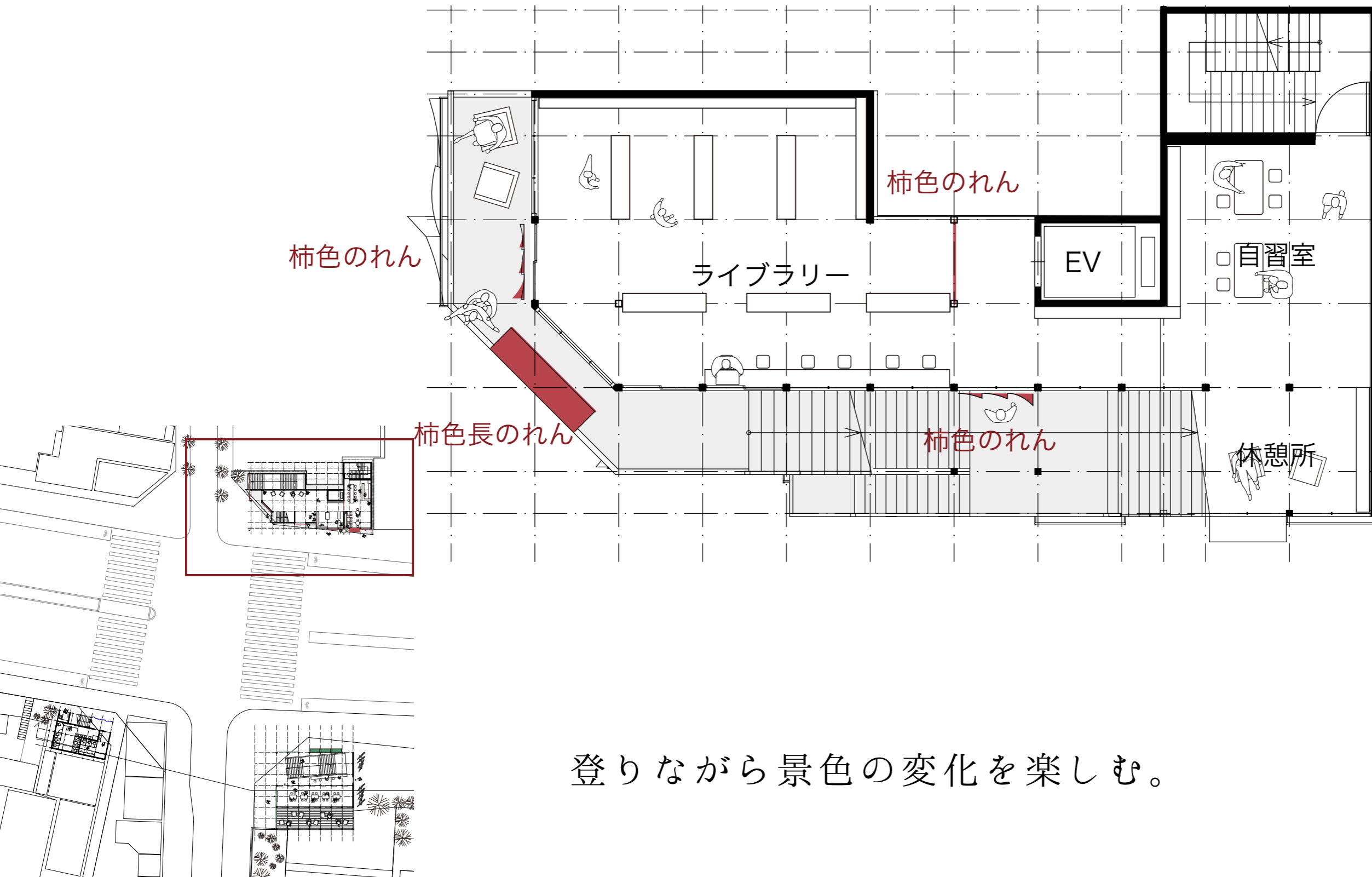


神楽坂について知り、歴史とつながる。

1F 平面図



06. かぐらいぶらりー

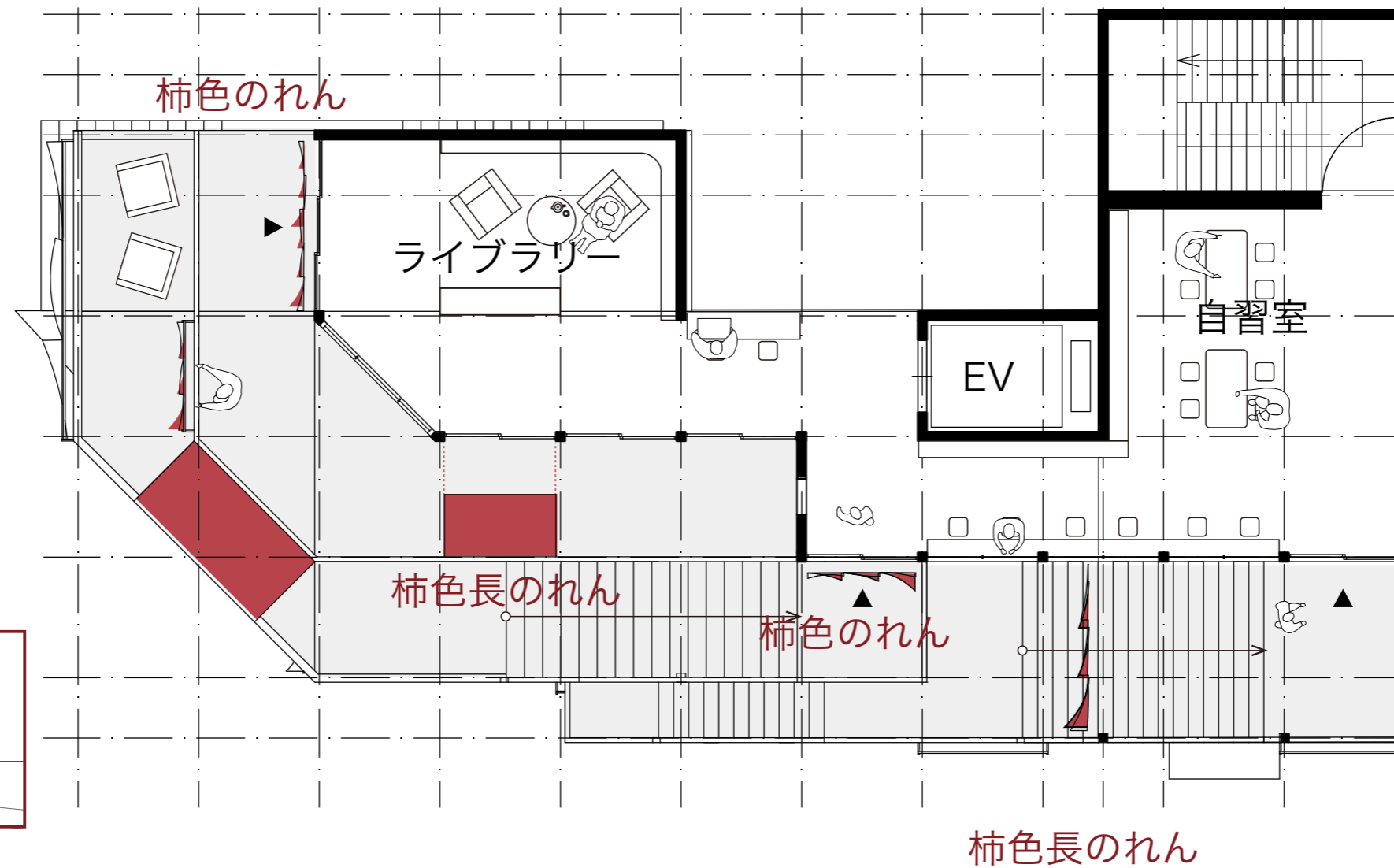


登りながら景色の変化を楽しむ。

2F 平面図



06. かぐらいぶらりー



最上階で実際の街並みを眺める。

3F 平面図



06. かぐらいおらりー



06. かぐらいぶらりー



07. 展望

通過することが目的である交差点に立ち寄れる場所を作り、その土地を地理的、歴史的、空間的位置付けを理解する時その交差点は一つのランドマークとなるのではないか

